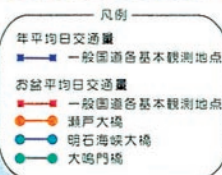
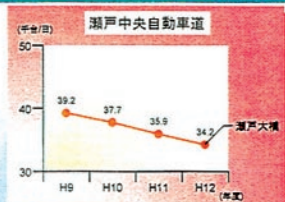
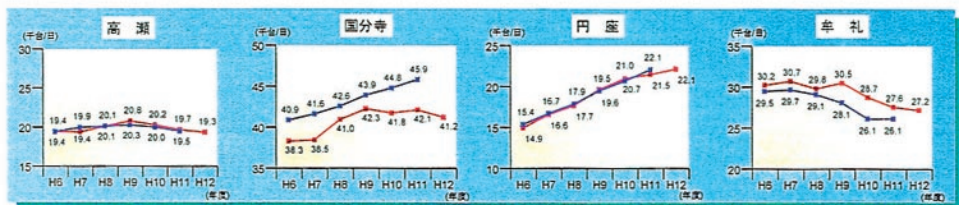


## 阪神一四国間の道路利用状況

平成10年4月5日に明石海峡大橋が開通したことにより、平成9年のお盆(8/12~15)と平成10年のお盆(8/12~15)を比較すると、本四連絡道路神戸淡路鳴門自動車道の鳴門ICと高速道路徳島自動車道の徳島ICを結び位置にある一般国道11号の中喜来の交通量が、約1.34倍の伸びとなった。その後、鳴門IC、徳島IC付近の他の調査地点のお盆の交通量の伸びは、減少又は、ほぼ横這いであるのに対し、中喜来は平成11年には減少はしたものの、平成12年のお盆(8/12~15)は、平成11年と比較すると、神戸淡路鳴門自動車道の伸びと比例して1.10倍と伸びている。

これは、高速道路井川池田IC~川之江東JCT間が開通(平成12年3月11日)したことにより、阪神一四国間の移動経路がより早く、より遠くまで行ける、明石海峡大橋・大鳴門橋を渡っての移動に移行してきている為と思われる。

一方、瀬戸中央自動車道は、年々約5%づつ減少し、周りの一般国道の方もお盆の平均日交通量は自然増加の円座地点を除いて、横這い又は減少している。



※年平均日交通量  
各年8月12日~15日のお盆ピーク4日間の  
各地点の年平均日交通量

